



平成27年3月定例会

# 大館市議会会議録 (第2号)

自 平成27年2月24日 開会  
至 平成27年3月16日 閉会

大 館 市 議 会

2月24日（火曜日）

第1日目

---

平成27年2月24日（火曜日）

---

## 議事日程第1号

平成27年2月24日（火曜日）

開 会 午前10時

議長報告（文書）

第1 会議録署名議員の指名

第2 会期の決定

第3 議案等の上程（一括）

説 明

質 疑

散 会

---

## 本日の会議に付した事件

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 議案等の上程

1. 認 第1号 専決処分の承認について（平成26年度大館市一般会計補正予算（第9号））
2. 議案第2号 大館市特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例案
3. 議案第3号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案
4. 議案第4号 市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案
5. 議案第5号 教育長の勤務時間、休暇等及び職務に専念する義務の特例に関する条例案
6. 議案第6号 教育長の給与等に関する条例を廃止する条例案
7. 議案第7号 大館市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案
8. 議案第8号 大館市特別会計条例の一部を改正する条例案
9. 議案第9号 大館市子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額に関する条例案
10. 議案第10号 大館市廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例案
11. 議案第11号 大館市介護保険条例の一部を改正する条例案
12. 議案第12号 大館市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する

- 基準を定める条例の一部を改正する条例案
13. 議案第 13 号 大館市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備、運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
  14. 議案第 14 号 大館市指定介護予防支援等の事業の人員、運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
  15. 議案第 15 号 大館市エコプラザに関する条例案
  16. 議案第 16 号 大館市長期優良住宅の普及の促進に関する法律関係手数料条例の一部を改正する条例案
  17. 議案第 17 号 大館市営住宅管理条例の一部を改正する条例案
  18. 議案第 18 号 大館市松下村塾に関する条例案
  19. 議案第 19 号 大館市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案
  20. 議案第 20 号 大館市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案
  21. 議案第 21 号 議決内容の一部変更について（市営新町住宅他建替え事業）
  22. 議案第 22 号 市道路線の廃止について（商人留側道 2 号線外 2 路線）
  23. 議案第 23 号 市道路線の認定について（東台 6 丁目 8 号線外 6 路線）
  24. 議案第 24 号 平成26年度大館市一般会計補正予算（第10号）案
  25. 議案第 25 号 平成26年度大館市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）案
  26. 議案第 26 号 平成26年度大館市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）案
  27. 議案第 27 号 平成26年度大館市介護保険特別会計補正予算（第 3 号）案
  28. 議案第 28 号 平成26年度大館市介護サービス事業特別会計補正予算（第 1 号）案
  29. 議案第 29 号 平成26年度大館市小規模水道等事業特別会計補正予算（第 1 号）案
  30. 議案第 30 号 平成26年度大館市休日夜間急患センター特別会計補正予算（第 1 号）案
  31. 議案第 31 号 平成26年度大館市田代診療所事業特別会計補正予算（第 1 号）案
  32. 議案第 32 号 平成26年度大館市公設総合地方卸売市場特別会計補正予算（第 1 号）案
  33. 議案第 33 号 平成26年度大館市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 2 号）案
  34. 議案第 34 号 平成26年度大館市公営駐車場事業特別会計補正予算（第 1 号）案
  35. 議案第 35 号 平成26年度大館市温泉開発特別会計補正予算（第 2 号）案
  36. 議案第 36 号 平成26年度大館市奨学資金特別会計補正予算（第 1 号）案
  37. 議案第 37 号 平成26年度大館市都市計画事業特別会計補正予算（第 2 号）案
  38. 議案第 38 号 平成26年度大館市土地取得特別会計補正予算（第 1 号）案
  39. 議案第 39 号 平成26年度大館市財産区特別会計補正予算（第 3 号）案

40. 議案第 40 号 平成26年度大館市水道事業会計補正予算（第 2 号）案
41. 議案第 41 号 平成26年度大館市工業用水道事業会計補正予算（第 1 号）案
42. 議案第 42 号 平成26年度大館市下水道事業会計補正予算（第 2 号）案
43. 議案第 43 号 平成26年度大館市病院事業会計補正予算（第 4 号）案
44. 議案第 44 号 平成27年度大館市一般会計予算案
45. 議案第 45 号 平成27年度大館市国民健康保険特別会計予算案
46. 議案第 46 号 平成27年度大館市後期高齢者医療特別会計予算案
47. 議案第 47 号 平成27年度大館市介護保険特別会計予算案
48. 議案第 48 号 平成27年度大館市介護サービス事業特別会計予算案
49. 議案第 49 号 平成27年度大館市戸別浄化槽整備事業特別会計予算案
50. 議案第 50 号 平成27年度大館市小規模水道等事業特別会計予算案
51. 議案第 51 号 平成27年度大館市休日夜間急患センター特別会計予算案
52. 議案第 52 号 平成27年度大館市田代診療所事業特別会計予算案
53. 議案第 53 号 平成27年度大館市公設総合地方卸売市場特別会計予算案
54. 議案第 54 号 平成27年度大館市農業集落排水事業特別会計予算案
55. 議案第 55 号 平成27年度大館市温泉開発特別会計予算案
56. 議案第 56 号 平成27年度大館市奨学資金特別会計予算案
57. 議案第 57 号 平成27年度大館市都市計画事業特別会計予算案
58. 議案第 58 号 平成27年度大館市土地取得特別会計予算案
59. 議案第 59 号 平成27年度大館市財産区特別会計予算案
60. 議案第 60 号 平成27年度大館市水道事業会計予算案
61. 議案第 61 号 平成27年度大館市工業用水道事業会計予算案
62. 議案第 62 号 平成27年度大館市下水道事業会計予算案
63. 議案第 63 号 平成27年度大館市病院事業会計予算案

#### 出席議員（28名）

1 番	小 棚 木 政 之 君	2 番	武 田 晋 君
3 番	佐 藤 照 雄 君	4 番	小 畑 淳 君
5 番	花 岡 有 一 君	6 番	中 村 弘 美 君
7 番	畠 沢 一 郎 君	8 番	伊 藤 毅 君
9 番	藤 原 明 君	10 番	千 葉 倉 男 君
11 番	佐 藤 久 勝 君	12 番	仲 沢 誠 也 君
13 番	虻 川 久 崇 君	14 番	石 田 雅 男 君
15 番	藤 原 美 佐 保 君	16 番	斉 藤 則 幸 君

17番	明石宏康君	18番	佐藤芳忠君
19番	吉原正君	20番	佐々木公司君
21番	佐藤健一君	22番	田中耕太郎君
23番	富樫孝君	24番	田村齊君
25番	菅大輔君	26番	笹島愛子君
27番	相馬エミ子君	28番	高橋松治君

---

欠席議員（なし）

---

説明のため出席した者

市長	小畑元君
副市長	吉田光明君
総務部長	名村伸一君
総務課長	虻川正裕君
総務課長補佐	桜庭寿志君
財政課長	北林武彦君
市民部長	日景省蔵君
福祉部長	佐藤孝弘君
産業部長	飯泉信夫君
建設部長	佐藤雄幸君
会計管理者	石戸谷清美君
病院事業管理者	佐々木睦男君
市立総合病院事務局長	虻川信幸君
消防長	佐藤久仁君
教育長	高橋善之君
教育次長	大森公咲君
選挙管理委員会事務局長	山口由秀君
農業委員会事務局長	若松俊一君
監査委員事務局長	小林浩君

---

事務局職員出席者

事務局長	花田一美君
次長	笹谷能正君
係長	畠沢昌人君

主  
主  
主

查 長 崎 淳 君  
查 大 里 克 史 君  
查 北 林 亘 君

---

---

## 午前10時00分 開 会

- 議長（中村弘美君） これより、平成27年3月大館市議会定例会を開会いたします。  
出席議員は定足数に達しております。  
よって、直ちに本日の会議を開きます。  
本日の議事は、日程第1号をもって進めます。  
諸般の報告は、お手元に配付しております文書により御了承願います。
- 
- 

### 日程第1 会議録署名議員の指名

- 議長（中村弘美君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。  
本定例会の会議録署名議員は、4番 小畑淳君、5番 花岡有一君、7番 畠沢一郎君を指名いたします。
- 
- 

### 日程第2 会期の決定

- 議長（中村弘美君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。  
お諮りいたします。  
本定例会の会期は、本日から3月16日までの21日間と定めたいと思います。  
これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

- 議長（中村弘美君） 御異議なしと認めます。  
よって、会期は本日から21日間と決定いたしました。  
なお、会期中の会議予定につきましては、お手元に配付しております日程表のとおりでありますから、さよう御了承願います。
- 
- 

### 日程第3 議案等の上程

- 議長（中村弘美君） 日程第3、議案等の上程を行います。  
認第1号、及び議案第2号から同第63号までの以上63件を一括上程いたします。  
提出者の説明を求めます。

〔市長 小畑 元君 登壇〕

- 市長（小畑 元君） 3月定例会に当たり、提出議案の説明に先立ちまして、12月定例会以後の主な事項について、概要を御報告申し上げます。

#### 1、源泉所得税の徴収漏れ及び固定資産税等の課税誤りについて。

このたびの源泉所得税の徴収漏れ、固定資産税及び都市計画税の課税誤りにつきましては、事業主並びに納税者の皆様に多大なる御迷惑をおかけし、この場をおかりしておわび申し上げます。



ます。源泉所得税につきましては、測量士や建築士などに対する報酬等の支払いに際しての徴収漏れが全国的に発生していることを受け、平成26年10月3日付で大館税務署から点検するよう指導があり、本市においても94件1,258万1,803円の徴収漏れのあることが判明いたしました。事業主の皆様には直ちに謝罪と経緯の説明を行い、御理解をいただいたところであり、所得税の更正申告の手続も順次行っていただいております。市では、徴収漏れの源泉所得税を12月末に税務署に納付し、延滞税及び不納付加算税108万9,000円についても2月10日に納付いたしました。一方、固定資産税及び都市計画税につきましては、全国の自治体で同様の課税誤りが相次いで発生していることを受け、本市でも課税状況を調査したところ、住宅の用に供する土地の税率軽減措置の適用漏れにより46件の課税誤りのあることが判明しました。対象の皆様に対しては昨年11月に謝罪と経緯の説明を行い、御理解をいただいたところであり、課税誤りにより徴収した分については10年分の過大徴収額766万4,500円に還付加算金など137万2,580円を加えた総額903万7,080円を昨年12月末に対象者全員に返還いたしました。今後は、このような誤りが生じないよう関係法令等の確認を徹底するとともに、現地調査や事務処理体制のさらなる強化と職員の知識・技術の向上に努め、再発防止に万全を期してまいります。

## 2、大雪への対応及び雪害の状況について。

今冬は、例年より一月早く12月初めから本格的な降雪となり、2月20日現在の累計降雪量は658.5センチメートルと平成18年豪雪を超える記録的な大雪となっております。この大雪に伴い除雪車の一斉出動回数が例年を大きく上回り、市街地や生活道路の排雪作業も非常に多くなっております。除雪経費につきましては、1月21日の臨時議会で3億4,000万円の補正予算を可決していただき1月末現在の予算執行額は6億9,400万円と、例年同期の実績額を大幅に上回っております。降雪は2月に入っても続き、今月12日に除雪経費2億1,840万円を追加する補正予算を専決処分させていただいたところであり、御理解を賜りますようお願い申し上げます。本市における雪害の状況については、今月20日現在、作業小屋の倒壊による死者が1人、屋根からの転落等による負傷者16人、住宅等の損壊23件などとなっており、大変な状況と受けとめております。農業関係では、農業用パイプハウス等の倒壊が64棟で被害額は約7,700万円となっているほか、果樹の枝折れ等の被害が懸念されており、今後の雪解けの状況を見ながら被害調査を行い、関係機関と連携しながら被災農業者への支援策を検討してまいりたいと考えております。市では、今月13日の暴風雪で積雪量が増大し、住宅損壊等の雪害の発生が懸念されたことから、翌14日、雪害防止に万全を期すため災害警戒対策室を設置し、情報収集・連絡体制の強化、家屋等の倒壊事故防止のためのパトロール、消防団による地元パトロールなどを実施しております。今後は、気温の上昇に伴い融雪がもたらす河川の増水による被害が予想されますので、引き続き警戒し安全対策に努めてまいります。

## 3、豪雨災害復旧事業等の進捗状況について。

(1)平成25年8月の豪雨及び9月の台風による災害復旧の状況について。

農地・農業用施設の災害復旧工事については、工事予定件数91件のうち25年度に46件を発注し、このうち44件で工事を終え、残る2件で仮復旧工事などを行いました。また、本年度は2月20日までに25件を発注済みであり、そのうち10件の工事が完了しております。3月には17件の入札を予定し、さらに来年度は3件の発注を予定しており、災害復旧工事のおくれにより今後の営農に支障を来さないようにしてまいりたいと考えております。農地・農業用施設の小規模災害復旧工事に対する補助事業については、1,002カ所2億973万円の申請があり、2月20日までに784カ所が完了し1億4,759万円を交付する見込みです。道路及び河川の災害復旧工事については、国の災害査定を受けた95カ所のうち、25年度に53カ所、本年度に36カ所の計89カ所を発注済みで現在45カ所が完成しております。未発注の6カ所についても年度内に発注予定であり、早期復旧を目指します。局所がけ崩れ対策事業6カ所については、全てを発注済みで現在4カ所が完成し、残り2カ所についても年度内の完成を目指して工事を進めております。

#### (2)平成26年8月の大雨による災害復旧事業の状況について。

農地・農業用施設については、農地3カ所、農業用施設6カ所のうち農業用施設1カ所を発注済みで、残る8カ所は4月以降に発注する予定です。また、林道施設2路線4カ所と道路2カ所、河川3カ所については年度内に発注し、来年度の完成を予定しております。

#### 4、大館市地域防災計画の改訂について。

7年ぶりとなる本計画の見直しに当たっては、東日本大震災を踏まえた地震対策の抜本的強化、大規模広域災害時の被災者対応等の強化、25年8月9日の豪雨災害等を踏まえた防災対策を3つの柱とし、8・9豪雨で被災した町内会との防災懇談会、関係機関との協議、さらにはパブリックコメントを経て2月17日に開催した市防災会議で改訂案の承認をいただいたところでもあります。今後は、国・県の動向や市民の意見を踏まえ随時見直しを行うとともに、来年度からは本計画に基づく各種災害ごとのマニュアル整備を実施したいと考えております。また、本計画の改訂とあわせ、市の避難所や防災情報などを網羅した防災マップを作成中であり、4月に市内全世帯に配布し、市民の防災・減災意識の向上と普及啓発に努めてまいります。

#### 5、まち・ひと・しごと創生法への対応について。

昨年末に閣議決定された国の総合戦略を受け、本市においても半世紀後を見据えた人口ビジョンと大館市総合戦略を策定し、人口減少等に対応できるまちづくりを進めることが重要な課題となります。27年度は、その準備と戦略策定期間と位置づけられており、市では企画調整課内に総合戦略推進室を新たに設け、これらの課題に対応してまいります。また、今般、国から先行して事業を実施するための地域住民生活等緊急支援交付金の内示があり、市では地域消費喚起、生活支援のためのプレミアム商品券事業と低所得者向けの優遇措置、また、地方創生先行事業としての総合戦略の策定、地場産品の販路拡大イベント、観光施設のバリアフリー改修等を実施することとし、今後精査の上、本定例会に係る予算を追加提案させていただく予定でありますのでよろしくお願い申し上げます。

## 6、第5次行財政改革大綱の実施状況について。

本年度から2カ年計画で取り組んでいる本大綱の実施状況について、テーマごとに主な内容を御報告いたします。「市民との協働・連携」では、パブリックコメント等による施策への市民参加の促進や大学・企業等との連携強化、「行政の質の向上と効率化」では放課後児童クラブの開設時間延長や指定管理施設に対する監査の実施、「健全な行財政体制の確立」ではふるさと納税や太陽光発電事業の誘致などによる市有財産の活用、「ICT活用による行政サービスの高度化」では統合型地理情報システムの構築や人事給与システムの刷新など、全64項目のうち60項目に取り組むことができ、財政的な効果額は約1億2,000万円と見込んでおります。今後も地方交付税の減少、人口減など地方自治体を取り巻く環境がさらに厳しくなると予想される中、社会保障・税番号制度の導入、地方創生への取り組みなどに対応しながら、行政サービスを安定的に行っていくためにも行財政改革への取り組みをさらに強化してまいります。

## 7、平成26年度のふるさと納税の寄附採納状況について。

ふるさと納税制度を利用した本市への寄附が2月20日現在で8,417件となり、金額も約1億2,500万円と県内自治体では初めて1億円を上回りました。ふるさと納税が広く国民に認知されていることに加え、返礼品の本市特産品の魅力や昨年9月からインターネットによる手続を簡略化したこと、1月からはあきたこまちなど特産品の品ぞろえをさらに充実させたことなどが奏功し、好調に推移した昨年同期と比較しても件数・金額とも約5倍の伸びとなっており、寄附してくださった皆様にはこの場をおかりしてお礼を申し上げます。寄附金を活用した事業につきましては、これまで桂城公園の整備を行なっているほか、27年度には小・中学校にタブレットパソコンの導入を予定しております。このほかの用途についても、現在、市民アンケートの結果を参考に検討を進めており、まとめ次第御提案申し上げたいと考えております。

## 8、大館市エコプラザについて。

循環型社会の構築と市民の環境への意識をさらに高めるため、沼館の旧ごみ焼却施設跡地に平成26年6月から建設を進めてきた（仮称）3R推進プラザが12月末に完成いたしました。施設名称の募集に対し、市内の小・中学生から80点が寄せられ、大館市環境審議会で審議いただいた結果、名称は大館市エコプラザ、愛称は3R（さんアール）プラザに決定しました。施設の管理運営は民間事業者へ委託するとともに、最初の1年間は県の緊急雇用創出等臨時対策基金事業を活用し、雇用の創出を図ることとしております。今後は公募により委託事業者を決定するとともに、必要な物品などの購入、展示物の設置等を経て本年5月のオープンを目指してまいります。本定例会に関係条例案及び予算案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

## 9、生活困窮者自立支援事業の実施について。

これまで専任職員を配置して法施行に向けて準備を進めてきたところですが、4月からの事業実施に当たり福祉課に係を新設し、生活困窮者の相談に包括的に対応してまいります。27年

度は、生活困窮者の相談を受け既存の制度などを有効活用し、生活困窮状態からの早期自立を支援する自立相談支援事業と、離職等により住居を失った方などに対し家賃相当額の給付金を支給することで求職活動を行える状況を確保し、ハローワークと連携して就労支援を行う住宅確保給付金事業の2つの事業を実施いたします。事業の実施に当たっては、支援を必要としている方の早期把握が重要であることから、相談への適切な橋渡しが行えるよう関係機関等に対する制度の周知と連携を図り、円滑な事業実施と適切な支援に努めてまいります。

#### 10、臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金の支給結果について。

臨時福祉給付金の支給事務において、1月30日に支給予定の107人分127万円の支払いが2月3日におくれるという事案が発生したことにつきまして、おわび申し上げます。この事業については、昨年7月及び9月にも加算金対象者の漏れなどにより対象者の皆様に御迷惑をおかけしており、市政に対する信頼を損ないかねないものと認識し、今後かかることのないよう組織を挙げて再発防止に取り組んでまいりますので、御理解を賜りますようお願い申し上げます。各給付金の支給実績につきましては、臨時福祉給付金は支給対象者1万8,259人のうち95.1%、1万7,368人から申請があり支給総額は2億2,970万円となっております。子育て世帯臨時特例給付金は支給対象者4,415人のうち99.0%、4,369人から申請があり支給総額は7,205万円となっております。これらの支給事業については、国の予算案に伴い平成27年度も実施する予定であり、本定例会に関係予算案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

#### 11、第6期介護保険事業計画について。

平成27年度から29年度までを期間とする第6期介護保険事業計画では、高齢化の進行に伴い今後ますます介護給付費の増加が見込まれる中、介護保険事業基金の活用により保険料の上昇を可能な限り抑えるとともに、低所得者の負担軽減を図ることとしております。本計画では、保険給付総額を第5期計画と比べて14%増の約301億円と見込み、保険料の基準月額を19.4%、額にして1,017円増の6,256円に設定しております。本計画案については、1月下旬に市内6会場で市民説明会を開催するとともに、2月12日の第3回介護保険事業計画運営委員会に諮問し、承認の答申をいただいたところであります。本定例会に介護保険料の改定等に関する条例案及び予算案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

#### 12、インフルエンザ感染予防対策について。

今季は、全国的にインフルエンザが猛威を振るい、大館保健所管内においても1医療機関当たりの患者報告数が1月第3週の12.57人から第5週には29.86人と急上昇し、2月19日現在、市内小・中学校で942人が発症し、16学年13学級について閉鎖措置をとったところです。医療機関などでもインフルエンザの集団感染が発生しており、1月27日には鹿角市の病院で4人が、2月には大館市の病院と介護施設で高齢者4人が死亡するなど、予断を許さない状況が続いています。市では緊急に、福祉・教育・病院などの庁内関係部署による感染症対策連絡会議を開催し、集団発生の情報発信と感染予防対策の徹底を指示したほか、緊急メールやホームページ

により帰宅後のうがいや手洗いの徹底などを市民に呼びかけ、特に免疫力の弱い高齢者や子供には十分な対策をとるよう周知・啓発に努めたところです。冬期は、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の流行なども懸念されることから、県の感染症情報等を注視しながら引き続き感染予防の徹底に努めてまいります。

### 13、米価下落対策について。

平成26年産の本県あきたこまちの概算金が60キログラム当たり過去最低の8,500円となった事態を受け、昨年10月15日にJA・市などで米価下落に伴う農業経営支援に関する緊急対策会議を開催したほか、プロジェクトチームにおいて4つの具体的な対策案を取りまとめました。対策の1点目は、主食用品種による飼料用米作付を拡大するための耕作放棄地発生防止作付推進事業費補助金の拡充、2点目は稲作農家の営農継続のための肥料・農薬購入費を助成する稲作経営緊急支援対策補助金、3点目は農地中間管理機構を通して農地を集積し、転作を拡大する受け手に対して支援する農地集積加速化補助金、4点目は飼料用米保管倉庫改修費用を支援する飼料用米生産体制支援事業費補助金であり、これらの市独自の支援策により意欲ある頑張る農家を支援し、地域農業の存続と振興を図ってまいります。本定例会に係る予算案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

### 14、平成27年産米の生産数量目標について。

平成27年産米の生産数量目標については、26年産米に比べて886トン少ない2万831トンが提示されました。これを受けて大館市農業再生協議会では、全農家に対する配分率を昨年より2.2ポイント少ない55.6%に決定したところであり、2月20日に生産調整方針作成者であるJA等へ通知したところです。今回の通知では、生産数量目標のほか過剰な在庫を解消させるための目安となる自主的取り組み参考値についても付記しており、30年の生産調整廃止に向け自主的な生産の判断を促しております。配分率の県内格差については、格差解消を強く県に要望してきたところであり、25年産までの3年間で11.2ポイントから5.6ポイントに縮小され、さらに今後は28年産及び29年産の2年間で2.8ポイントまで縮小されることが決定しておりますので、御理解をお願いいたします。

### 15、農業農村整備事業の状況について。

圃場整備事業については、平成21年度から実施している沼館地区の進捗率が90%となり、27年度の完成見込みであります。また、本年度から本格的に工事が始まった芦田子地区は、進捗率40%で29年度の完成を目指しております。また、上川沿地区では、27年度の事業採択に向けて受益者からの同意取得と地域内に4つの法人組織の設立を進めているところであり、3月に事業採択の申請を行い、27年度に実施設計を行う予定です。一方、曲田地区のため池整備事業は、本年度は実施設計と用地補償を行い、進捗率は20%で27年度に工事を発注し、28年度の完成を目指してまいります。

### 16、企業誘致の状況等について。

ニプログループで埼玉県春日部市に本社を置くニプロパッチ株式会社が県営大館第二工業団地に進出することとなりました。同社は、鎮痛消炎剤や局所麻酔剤・発毛促進剤など外用剤の製造・販売事業を行っておりますが、このたび、国内医療機関向け経皮吸収型気管支拡張剤、貼付用局所麻酔剤の増産とともに、高齢化社会を迎え需要拡大が見込まれる中枢神経系外用剤の将来的な製造に向け、団地用地約2.6ヘクタールを取得し、新たな工場を建設することとしたものであります。投資額は約38億円で新規雇用は22人、将来的には124人を見込んでおり、来年11月の操業開始を予定しております。これにより大館第二工業団地は完売となります。また、同団地では、東北センバが冷凍和菓子の需要拡大と新商品拡充のため製造ラインの増設を計画しており、投資額は約4億円、新規雇用は14人ほど見込んでおり、本年4月の操業開始を予定しております。県営大館工業団地では、ニプロが国内外向けダイアライザーの製造ライン増設等を計画しており、投資額は約91億円、新規雇用は約120人と見込んでおり、操業開始は第1期が本年8月、第2期は来年4月を予定しております。一方、釈迦内産業団地では、秋田グルーラムが木造非住宅用集成材プレカット工場の建設と本社機能の移転を計画しており、投資額は約7億円、新規雇用は約10人で来年4月の操業開始を予定しているほか、バイオマス発電と植物工場を組み合わせた事業の誘致も進めております。これらにより、さきにDOWAホールディングスから御寄附いただいた6ヘクタールの土地を加えた団地総面積約26ヘクタールの半分ほどが木材関連企業による利用または利用予定となっております。このほか、釈迦内地区の小滝電機製作所では、昨年9月に契約社員60人を正社員化したことに続き、車載向けLED基板増産のため第二工場増設を計画しており、投資額は約5億円、新規雇用は約30人を予定しております。県営工業団地拡張事業は、本年度用地買収等が進められておりますが、埋蔵文化財確認調査の結果、平安時代の住居跡などが確認され来年度から2カ年にわたり発掘調査が必要となったことから、団地拡張事業の完了も2年延期となり、分譲開始は平成30年4月の予定となっております。今後も工業団地の拡張・整備を含め企業誘致に鋭意取り組んでまいりますので、御理解・御協力をお願い申し上げます。

#### 17、地域雇用・経済対策について。

この春の市内高校卒業予定者の就職につきましては、1月末現在、内定率は94.3%となっており、とりわけ県内就職希望者140人に対する市内企業からの求人が306人と好調であり、求人倍率は2.2倍となっております。また、12月のハローワーク大館管内の有効求人倍率は、景気の上向き傾向を反映し1.13倍となっており、現在の統計方法となった平成13年4月以降の最高値を更新中であります。緊急雇用創出等臨時対策基金事業による雇用状況については、26、27年度の2カ年で事業費総額約2億1,600万円、24事業118人の雇用を見込んでおります。一方、市の制度融資マル大・マル大小口については、本年度から融資資金に対する利子補給制度を開始したこともあり、1月末現在の融資額は前年同期比でマル大が1.87倍、マル大小口が3.43倍となっており、昨年7月から開始した資格取得支援事業については、1月末現在、113人に対

し約450万円の補助を行っております。今後も地域雇用の確保や労働力の質的向上、中小企業の支援等に取り組んでまいります。

#### 18、冬祭りについて。

ことしで31回目となる比内とりの市が1月24日、25日の両日、比内グラウンドを主会場に開催され、好天に恵まれた2日間の来場者は3万7,000人となりました。会場は千羽焼きなどを買い求める人々でにぎわったほか、餅まきなどのイベントが催され多くの子供たちも参加して祭りを盛り上げました。2月14日、15日には、おおまちハチ公通りを主会場に大館アメッコ市が開催されました。101店が軒を連ねる中、白髭大神巡行・秋田犬パレードなどの多彩なイベントで盛り上がりを見せたほか、協賛行事として「えだまめスイーツ」など新名物の販売も行われ、人気を博しました。前日の猛吹雪の影響で交通機関の乱れなどもありましたが、会場には北東北の冬祭りをめぐる観光客なども訪れ、9万3,000人の来場者でにぎわいました。

#### 19、道路等の整備状況について。

社会資本整備総合交付金事業二井田片貝沼田線道路改良工事は、本年度は沼田地内の640メートルの改良及び舗装工事を行い、昨年11月から供用開始しています。二中長面袋線道路改良工事では長者森橋の新設等を行い、北陽中学校開校に合わせて4月から全線供用開始の予定です。また、狭あい道路整備等促進事業では、本年度相染町旭ヶ丘2号線など3路線で用地取得を進めており、橋梁の長寿命化では高館橋の補修工事が11月に完成しました。水道施設については、25年8月9日の豪雨で被害を受けた真中簡易水道取水ポンプ場の復旧事業が12月に完了し、未普及地域解消事業では別所地区の約2.2キロメートル、老朽管更新事業では東台及び釈迦内字中台地内の延長約2.4キロメートルを整備、田代地域においてはクリプト対策による水質改善と老朽化施設の更新を図るための統合簡易水道事業を進めており、来年度も送配水管の更新や早口・岩瀬取水ポンプ場への紫外線装置設置工事などを予定しております。公共下水道については、昨年末に有浦及び観音堂の一部で約10ヘクタールを供用開始したほか、この4月からは御成町・観音堂・大田面及び田代地域茂屋の一部、合わせて約32ヘクタールで新たに供用開始する予定です。これにより、対象人口3万8,200人、1万6,400世帯で下水道の利用が可能となり、下水道普及率は年度当初と比較して2.3ポイント増の50.3%となる見込みです。

#### 20、教育委員会制度の改正について。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律が本年4月1日に改正されます。今回の改正は、教育の政治的中立性・継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任体制の明確化、地方公共団体の長と教育委員会との連携強化、地方に対する国の関与の見直しなど、制度の抜本的な改革を行うものであります。法の改正に当たり、総合教育会議の設置と教育に関する総合的な施策の大綱の策定が全ての地方公共団体に求められており、市では5月の設置及び策定を目標に準備を進めているところであります。このほか、教育委員長と教育長を一本化した新教育長の設置など、一部制度の変更については経過措置を設けて来年4月から施行する予定で

あり、本定例会に係る条例案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

#### 21、北陽中学校の開校について。

第二・花岡・矢立の3中学校が3月31日をもってその歴史に幕をおろし、4月から北陽中学校が開校する運びとなりました。3校ではこれまでに生徒間の交流や合同学習など、統合に向けた環境づくりを進めてきており、学校行事や部活動などもスムーズに移行することができるものと思っております。また、現在建設中の長者森橋が4月には開通予定で通学路への街灯設置も学区内3カ所で施工中であり、これにより花岡・矢立方面からの通学の利便性向上と生徒の安全確保が図られるものと考えております。なお、3月21日に第二中学校、翌22日に花岡・矢立中学校で閉校式及び思い出を語る会が開催される予定であり、卒業生並びに3校にゆかりのある皆様の御参加をお願い申し上げます。新たに開校する学校が地域の期待に応えて輝く歴史を刻んでいくよう、今後も児童生徒の学習及び生活環境の向上に向けて取り組んでまいります。

#### 22、新下川沿公民館の供用開始について。

下川沿公民館の改築工事が完了し、去る2月21日に竣工式を行い、新公民館の貸し館業務を23日から開始いたしました。新公民館は、バリアフリーに配慮しながら主要構造材や内装材に県産材を多用し、ペレットボイラーを備えているほか、小林多喜二コーナーを設けるなど本市ならではの建物となりました。公民館周辺の小・中学校や保育所を含む一帯を下川沿文教エリアとし、地元町内会が行っている新道山公園の整備と一体的に整備を進めているところであり、新公民館が地域に集う方々の交流の場となり、伝統の継承、学習、防災など、地域の拠点施設として活用されることを期待しております。

#### 23、呼吸器外科の設置について。

市立総合病院では、新たな診療科として呼吸器外科を設置し、常勤医師2人でこの4月から診療を開始する予定です。これにより、従来大学病院などへ紹介していた肺がんなどの呼吸器疾患の手術や治療が当院で行えるようになり、患者さんの負担軽減、さらには迅速な診断と治療による医療の質の向上につながるものと考えております。このたびの診療科の設置は、秋田県及び秋田大学の支援により実現したものであり、今後も地域がん診療連携拠点病院としてより一層の機能充実に努めてまいります。本定例会に係る条例案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

#### 24、高機能指令センター整備事業の進捗状況について。

昨年10月に建設工事が完了した指令センター内に高機能型消防指令装置や消防救急デジタル無線装置を初め、秋田県総合防災システム、大館市防災行政無線など各種機器類の設置がほぼ完了し、進捗率は2月末で97%となる見込みです。全ての機器の設置が完了後、119番専用回線などの接続・点検・動作試験等を経て4月から運用を開始する予定で、さきに稼働している消防救急デジタル無線設備と連動することで災害現場の映像送信など情報の集約・発信機能が



大幅に向上し、市民の安全・安心に大きく寄与するものと考えております。

続きまして、提出いたしました議案につきまして、主な内容を御説明申し上げます。

本日は、専決処分の承認1件、条例案19件、単行案3件、予算案40件の計63件を提出しております。

**認第1号**は、平成26年度大館市一般会計補正予算（第9号）にかかわる専決処分の承認についてであります。

これは、1月の臨時会で追加補正いたしました除雪経費が近年にない豪雪と寒波の影響により、さらに不足を来す見込みとなりましたことから、歳出の除雪委託料などに2億1,840万円を追加し、歳入の財政調整基金繰入金に同額を追加することにつきまして2月12日付で専決処分させていただいたものであり、補正後の予算総額は347億1,403万3,000円となっております。

**議案第2号から議案第6号**までの5件は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、教育委員長と教育長を一本化した新教育長を設置し、常勤の特別職にすること等に伴い関係条例の改正及び廃止、並びに新たな条例を制定しようとするものであります。

これらのうち、議案第2号は特別職報酬等審議会の所掌事項に教育長を追加することについて、議案第3号は教育委員長に関する報酬の規定を削除すること、及び消防団の費用弁償を活動の実態に応じて細分化するとともに金額を見直すことについて、議案第4号は教育長の給与及び旅費を市長等と同様に常勤特別職の給与等に関する条例に規定すること、及び秋田県人事委員会の勧告を踏まえた職員の給与改定に伴い、準用している一般職の職員の期末手当支給月数を変更することについて、議案第5号は新教育長の職務専念義務が法律に追加されたことから、勤務時間、休暇及び職務に専念する義務の特例に関する条例を制定することについて、議案第6号は一般職である教育長の給与等を定めている条例を廃止することについて、それぞれ所要の措置を講じようとするものであります。

**議案第7号**は、大館市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、秋田県人事委員会の勧告に鑑み、職員の通勤手当、期末手当及び勤勉手当の額等について改定しようとするものであります。

**議案第8号**は、大館市特別会計条例の一部を改正する条例案であります。

これは、大館スカイパーキングについて指定管理者制度を導入したこと、及び借入金の償還が終了したことに伴い、大館市公営駐車場事業特別会計を廃止しようとするものであります。

**議案第9号**は、大館市子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額に関する条例案であります。

これは、子ども・子育て支援法に基づき、本年4月から実施する子供のための教育・保育給付にかかわる利用者負担額は、国が定める額を上限として市町村が定めるものとされたことから本条例を制定するとともに、保育の実施基準については法律で規定されたことから、大館市保育の実施に関する条例を廃止しようとするものであります。

**議案第10号**は、大館市廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、新設される大館市エコプラザにおいて埋め立てごみを受け入れるに当たり、処理場までの運搬にかかわる手数料について規定しようとするものであります。

**議案第11号**は、大館市介護保険条例の一部を改正する条例案であります。

これは、平成27年度から3年間の第6期介護保険事業計画の策定に伴い、事業の安定運営を図るため保険料を改定するなど、所要の措置を講じようとするものであります。

**議案第12号から議案第14号**までの3件は、介護保険法施行規則等の一部を改正する省令の公布に伴い、国が定める事業の人員、設備及び運営等の各種基準が改正されたことから、本市においても所要の措置を講じようとするものであります。

これらのうち、議案第12号及び議案第13号は介護サービスの名称、利用定員、看護職員の配置要件等について、議案第14号は指定介護予防支援の具体的取扱方針について、それぞれ改正しようとするものであります。

**議案第15号**は、大館市エコプラザに関する条例案であります。

これは、資源の有効利用、廃棄物の減量に関する意識の向上を図るとともに、自主的な活動を支援するための施設として大館市エコプラザを設置するに当たり、本条例を制定しようとするものであります。

**議案第16号**は、大館市長期優良住宅の普及の促進に関する法律関係手数料条例の一部を改正する条例案であります。

これは、長期優良住宅建築等計画の認定の申請に際し、品質確保法に基づく住宅性能評価書が提出された場合における手数料の額を定めようとするものであります。

**議案第17号**は、大館市営住宅管理条例の一部を改正する条例案であります。

これは、市営住宅の共益費について、自治組織等による管理が困難な場合に市が徴収及び管理することができるようにするため所要の措置を講じようとするものであります。

**議案第18号**は、大館市松下村塾に関する条例案であります。

これは、財団法人大館鳳鳴高等学校振興会から寄附された竹村記念公園・松下村塾を保全するとともに、市民の交流及び触れ合いの場としての利活用を図るため本条例を制定しようとするものであります。

**議案第19号**は、大館市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、地域がん診療連携拠点病院としての体制整備のため、市立総合病院に本年4月から新たに呼吸器外科を設けることに伴い、所要の措置を講じようとするものであります。

**議案第20号**は、大館市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、議案第4号と同様に秋田県人事委員会の勧告を踏まえた職員の給与改定に伴い、病

院事業管理者の期末手当について、所要の措置を講じようとするものであります。

**議案第21号**は、議決内容の一部変更についてであります。

これは、平成25年6月及び26年9月定例会において議決をいただきました市営新町住宅他建替え事業の特定事業契約の締結について、建設物価指数の上昇に伴い事業費の改定を要することから、変更契約の締結に関し、再度議会の議決をお願いするものであります。

**議案第22号**は、市道路線の廃止についてであります。

これは、市道路線の起終点に変更が生じる商人留側道2号線など3路線を廃止しようとするものであります。

**議案第23号**は、市道路線の認定についてであります。

これは、東台6丁目8号線など7路線を市道に認定し、管理しようとするものであります。

**議案第24号**は、平成26年度大館市一般会計補正予算（第10号）案であります。

今回の補正は、基金積立金の計上や26年度事業費の増減に伴う精算、及び災害復旧費の繰越しに伴う調整などが中心となっており、11億5,115万1,000円の追加で補正後の予算総額は358億6,518万4,000円となる見込みであります。最初に、歳出の補正の主な内容について申し上げますと、総務費に減債基金積立金、庁舎等整備基金積立金、ふるさと応援寄附基金積立金を追加。衛生費に市立病院への補助金等を追加。土木費に生活バス路線維持費補助金を計上。災害復旧費で過年発生農業施設災害復旧費を追加しております。次に、歳入の補正の主な内容を申し上げますと、市税及び地方交付税に本年度の歳入見込額を追加。国庫支出金でがんばる地域交付金、過年発生農業施設災害復旧費負担金を追加、臨時福祉給付金給付事業費補助金を減額。市債で地域総合整備資金貸付事業債等を減額し、臨時財政対策債を追加しております。

また、第2条第2表に3R推進プラザ整備事業の継続費の補正を、第3条第3表に保育所整備等特別対策事業など15件の繰越明許費の補正を、第4条第4表には比内地鶏ハム・ソーセージ生産加工人材育成事業など21件の債務負担行為の補正を、さらに、第5条第5表には上水道事業出資金など24件の地方債の補正について御提案申し上げます。

**議案第25号から議案第39号**までの15件は、平成26年度各特別会計における補正予算案であります。

主なものについて申し上げますと、議案第27号は保険給付費の減などに伴う介護保険特別会計補正予算（第3号）案であり、今回の補正は2億849万7,000円の減額で補正後の予算総額は96億7,740万1,000円となる見込みであります。議案第37号は土地区画整理事業費の減などに伴う都市計画事業特別会計補正予算（第2号）案であり、今回の補正は2億970万9,000円の減額で補正後の予算総額は8億9,395万1,000円となる見込みであります。そのほか、いずれの特別会計についても国・県支出金、市債等の財源補正を事業費の精算とあわせて行うものであります。

**議案第40号**は、平成26年度大館市水道事業会計補正予算（第2号）案であります。

最初に、収益的収入及び支出であります。収入では雑収益の減額等により予算総額は15億337万8,000円となり、支出では修繕費の減額等により予算総額は14億4,489万6,000円となる見込みであります。次に、資本的収入及び支出であります。収入では企業債等の減額により予算総額は8億9,154万5,000円となり、支出では工事請負費の減額等により予算総額は14億7,478万4,000円となる見込みであります。

**議案第41号**は、平成26年度大館市工業用水道事業会計補正予算（第1号）案であります。

最初に、業務の予定量であります。年間総給水量を8万200立方メートル増の132万7,000立方メートルとしております。次に、収益的収入及び支出であります。収入では他会計補助金の減額等により予算総額は5,185万3,000円となる見込みであり、支出では修繕費の減額等により予算総額は5,102万8,000円となる見込みであります。また、資本的収入及び支出については、収入では企業債の減額により予算総額は8,000円となり、支出では委託料の減額等により予算総額は4,663万円となる見込みであります。

**議案第42号**は、平成26年度大館市下水道事業会計補正予算（第2号）案であります。

最初に、業務の予定量であります。排水戸数を135戸増の1万2,245戸に年間総排水量を5万4,000立方メートル増の275万2,800立方メートルとしております。次に、収益的収入及び支出であります。収入では他会計補助金の減額等により予算総額は14億1,038万2,000円となる見込みであり、支出では企業債利息の減額等により予算総額は15億1,305万8,000円となる見込みであります。また、資本的収入及び支出については、収入では国庫補助金の減額等により予算総額は12億9,317万8,000円となる見込みであり、支出では建設改良費の減額等により予算総額は18億24万4,000円となる見込みであります。

**議案第43号**は、平成26年度大館市病院事業会計補正予算（第4号）案であります。

最初に、収益的収入及び支出であります。収入では他会計補助金の増加等により予算総額は114億4,043万4,000円となる見込みであり、支出では給与費等の減額により予算総額は116億6,916万2,000円となる見込みであります。次に、資本的収入及び支出であります。収入では企業債の減額等により予算総額は13億1,074万9,000円となる見込みであり、支出では電子カルテシステム整備事業費の確定に伴う精算等により予算総額は15億736万4,000円となる見込みであります。

**議案第44号**は、平成27年度大館市一般会計予算案であります。

27年度当初予算は総額で308億5,339万2,000円となり、前年度当初予算と比較しますと額で14億996万2,000円、率で4.4%の減、また、投資的経費では額で14億1,479万7,000円、率にして41.2%の減となっております。これは、4月に市長・市議会議員選挙が執行されることから骨格型の予算編成としたことによるものであります。民間投資の誘発による地元経済の活性化と雇用の場の創出に重点を置き、災害復旧事業を初め市民生活の安全・安心の確保、市民サービスの維持・向上など、市政の根幹にかかわる経費を中心に計上したところであります。そ

れでは、歳出から主な内容を御説明申し上げます。議会費には3億1,949万1,000円を計上。総務費では財産管理費の公共施設解体撤去基金積立金や県議会議員、市長・市議会議員一般選挙費など28億616万1,000円を計上。民生費では障害者福祉費や介護保険費など社会福祉費に65億3,486万円、保育園費や児童手当費など児童福祉費に36億936万2,000円、生活保護費に15億3,342万8,000円などで総額117億1,043万3,000円を計上。衛生費では総合病院及び扇田病院への負担金・補助金などのほか、ごみ処理委託料など41億93万9,000円を計上。農林水産業費では米価下落対策の一環としての新規需要米等生産拡大緊急対策事業費補助金などのほか、農業基盤整備に係る負担金など11億580万4,000円を計上。商工費に中小企業融資あっせん資金預託金や釈迦内産業団地整備にかかわる用地造成工事費など11億4,096万9,000円を計上。土木費には道路の改良・補修工事費を初め、高齢者等低額フリーパス券支援事業費補助金、住宅リフォーム緊急支援事業費補助金など15億3,533万円を計上。消防費に10億6,755万3,000円を計上。教育費に小・中学校、公民館の施設維持補修工事費など29億3,007万6,000円を計上。公債費に29億6,868万6,000円を計上。諸支出金に水道・工業用水道・下水道の各公営企業への負担金など10億1,951万2,000円を計上しております。次に、歳入について主な内容を申し上げますと、基幹収入であります市税は73億3,270万6,000円で市民税個人及び法人の減などにより、前年度当初予算と比較して1億7,751万4,000円、率にして2.4%の減となっております。地方交付税は111億5,852万7,000円で普通交付税の減を見込み、前年度当初予算と比較して8,353万7,000円、率で0.7%の減となっております。国庫支出金では障害者自立支援給付費負担金、生活保護費負担金や児童手当負担金など40億2,773万円を計上。県支出金では福祉医療費補助金や水田農業推進費補助金など25億5,639万3,000円を計上。繰入金に減債基金繰入金など6億9,491万5,000円を計上し、市債に教育施設整備事業債や臨時財政対策債など19億6,300万円を計上しております。

このほか、第2条第2表に二井田堰用水使用負担金など4件にかかわる債務負担行為の設定を、第3条第3表には上水道事業出資金など21件に係る地方債の限度額等の設定を、また、第4条に一時借入金の限度額の設定を、さらに、第5条に予算の流用に関する事項について、それぞれ御提案申し上げます。

**議案第45号から議案第59号までの15件は、平成27年度大館市各特別会計における予算案であります。**

特別会計の当初予算総額は219億3,601万3,000円で、前年度と比較しますと額で5億6,457万8,000円、率で2.6%の増となっております。主なものについて申し上げますと、議案第45号は大館市国民健康保険特別会計予算案で予算総額は99億7,424万8,000円、議案第46号は大館市後期高齢者医療特別会計予算案で予算総額は8億6,687万5,000円、議案第47号は大館市介護保険特別会計予算案で予算総額は99億6,200万6,000円、議案第51号は大館市休日夜間急患センター特別会計予算案で予算総額は4,023万6,000円、議案第52号は大館市田代診療所事業特別会計予

算案で予算総額は5,402万9,000円、議案第54号は大館市農業集落排水事業特別会計予算案で予算総額は4億952万5,000円、議案第56号は大館市奨学資金特別会計予算案で予算総額は4,794万8,000円、議案第57号は大館市都市計画事業特別会計予算案で予算総額は4億1,372万1,000円となっております。

**議案第60号**は、平成27年度大館市水道事業会計予算案であります。

最初に、業務の予定量であります。前年度当初との比較で給水戸数を40戸増の2万5,872戸、年間総給水量を0.6%減の555万4,000立方メートルとしております。次に、収益的収入及び支出であります。収入は給水収益等で14億8,082万8,000円とし、支出は営業費用等で14億1,301万7,000円としております。また、資本的収入及び支出については、収入は企業債、国庫補助金等で9億5,476万2,000円とし、支出は田代地区統合簡易水道事業等にかかわる建設改良費、企業債償還金等で14億2,996万円としております。

**議案第61号**は、平成27年度大館市工業用水道事業会計予算案であります。

最初に、業務の予定量であります。前年度当初との比較で年間総給水量を6.9%増の133万3,000立方メートルとしております。次に、収益的収入及び支出であります。収入は給水収益、他会計補助金等で5,393万7,000円とし、支出は営業費用等で5,074万8,000円としております。また、資本的収入及び支出については、収入は企業債等で5,000万7,000円です。支出は建設改良費と企業債償還金等で8,638万2,000円としております。

**議案第62号**は、平成27年度大館市下水道事業会計予算案であります。

最初に、業務の予定量であります。前年度当初との比較で排水戸数を477戸増の1万2,587戸、年間総排水量を3.2%増の278万6,400立方メートルとしております。次に、収益的収入及び支出であります。収入は下水道使用料、他会計補助金等で14億1,072万円とし、支出は営業費用等で15億758万円としております。また、資本的収入及び支出については、収入は企業債、出資金等で9億2,253万8,000円とし、支出は大田面地区ほかの公共下水道工事にかかわる建設改良費、企業債償還金等で14億3,096万8,000円としております。

**議案第63号**は、平成27年度大館市病院事業会計予算案であります。

最初に、業務の予定量であります。1日平均患者数を総合病院の入院で324人、外来で1,050人、扇田病院の入院で95人、外来で131人としております。次に、収益的収入及び支出であります。収入は医業外収益の減等により前年度当初比で1.0%減の110億8,180万6,000円とし、支出は前年度当初比で1.3%減の114億7,456万6,000円としております。また、資本的収入及び支出については、収入は企業債、出資金等で5億2,665万3,000円とし、支出は医療機器等整備事業費、企業債償還金、看護師奨学金貸付金などで8億2,097万9,000円としております。

議案の概要につきましては、以上であります。よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げます。（降壇）

○議長（中村弘美君） これより、ただいまの上程議案等に対する質疑に入ります。  
御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村弘美君） なしと認め、質疑を終結いたします。

---

---

○議長（中村弘美君） 以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

次の会議は、3月2日午前10時開議といたします。

本日は、これにて散会いたします。

午前11時06分 散 会

---

---